

2007 年 IEEE Kansai Section

総会資料

2007 年 2 月 6 日

IEEE Kansai Section

総会資料目次

Program	p.1
I. 2006年関西支部活動報告	p.3
II. 2006年関西支部会計報告	p.11
III. 関西支部会員数	p.12
IV. 2007年関西支部役員・理事	p.14
V. 2007年 Kansai Chapter 役員	p.17
VI. 2007年関西支部活動計画	p.18
VII. 2007年関西支部予算	p.23
VIII. 関西支部 Bylaws	p.24
添付資料（技術講演会企画実施要領）	p.27

2007年IEEE Kansai Section総会

1. 日時： 2007年2月6日（火）15時00分～17時30分
2. 場所： 京大会館 2階 210号室
606-8305 京都市左京区吉田河原町 15-9
3. 総会スケジュール
 1. 支部長挨拶
 2. 役員・理事紹介
 3. 2006年活動報告および会計報告
 4. 2007年事業計画および予算案承認
 5. Chapter役員および活動紹介
 6. IEEE Kansai Section GOLD Award 授賞式
 7. IEEE Kansai Section 学生研究奨励賞授賞式
 8. IEEE Kansai Section メダル授賞式
<休憩>
 9. IEEE Kansai Section 新 Fellow 紹介及びスピーチ
 10. 閉会の挨拶

IEEE Kansai Section GOLD Award受賞者

(敬称略)

川口 博 (神戸大学)
中島 智晴 (大阪府立大学)

IEEE Kansai Section学生研究奨励賞受賞者

計 10 名 (受付順、敬称略)

飯島 正章 (神戸大学大学院)
木寺 卓也 (神戸大学大学院)
北浦 明人 (同志社大学大学院)
吉川 祐樹 (奈良先端科学技術大学院大学)
Stepan Kucera (京都大学大学院)
Marc Delcroix (北海道大学大学院)
石川 智也 (奈良先端科学技術大学院大学)
北原 鉄朗 (京都大学大学院)
東野 武史 (大阪大学大学院)
吉井 和佳 (京都大学大学院)

IEEE Kansai Section メダル受賞者

計 21 名 (アルファベット順、敬称略)

栗井 郁雄	(龍谷大学)
Gordon Cheng	(国際電気通信基礎技術研究所)
千原 國宏	(奈良先端科学技術大学院大学)
Horst Gruening	(三菱電機)
原 隆浩	(大阪大学)
池田 和司	(京都大学)
井上 晃	(三菱電機)
門田 道雄	(村田製作所)
勝川 保	(住友電気工業)
木本 恒暢	(京都大学)
米谷 晴之	(三菱電機)
三ヶ田 均	(京都大学)
三木 隆博	(ルネサステクノロジ)
中谷 智広	(日本電信電話)
野田 進	(京都大学)
小川 晃一	(松下電器産業)
奥乃 博	(京都大学)
澤井 秀文	(情報通信研究機構)
田村 進一	(大阪大学)
上田 大助	(松下電器産業)
横矢 直和	(奈良先端科学技術大学院大学)

IEEE Kansai Section 新Fellow氏名

計 5 名 (アルファベット順、敬称略)

小田中 紳二	(大阪大学)
酒井 英昭	(京都大学)
三瓶 政一	(大阪大学)
鹿野 清宏	(奈良先端科学技術大学院大学)
杉江 俊治	(京都大学)

I 2006年 活動報告

1. 総会

2006年2月14日(火)に関西電力(株)本店ビル関電会館5号室において、2006年総会を開催した。Gold Award授賞式、学生研究奨励賞授賞式、2006年新Fellow2名による記念講演等を実施した。参加者：32名

2. 理事会

第1回理事会 1月17日 中央電気倶楽部 出席者：9名

- ・ 2006年総会について
- ・ 2005会計報告について
- ・ Chapter Promotion Committeeの設立について

第2回理事会 2月14日 関西電力(株)本店 出席者：11名

- ・ 2006年総会について
- ・ Chapter Promotion Committeeの設立について
- ・ IEEE Milestones 賞受賞記念講演会について

第3回理事会 4月6日 中央電気倶楽部 出席者：6名

- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ Region 10 Meeting 2006参加報告
- ・ IEEE Milestones 認定記念講演会について
- ・ 次期役員選出日程について

第4回理事会 6月27日 中央電気倶楽部 出席者：7名

- ・ Chapter Promotion Committee 第1回会合報告
- ・ Executive Nominations Committeeの任命について

第5回理事会 9月12日 中央電気倶楽部 出席者：7名

- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ 次期(2007/2008)役員・理事候補選出について
- ・ 関西支部メダル施策について
- ・ 関西支部 Gold Awardについて
- ・ 関西支部学生研究奨励賞について
- ・ 各 Committee 活動状況報告
- ・ 2006年会計中間報告

第6回理事会 11月8日 中央電気倶楽部 出席者：10名

- ・ 2007/2008 関西支部役員・理事の選出について
- ・ 業務引継について
- ・ 学生研究奨励賞審査中間報告について
- ・ 2006年活動報告および2007年活動計画の作成依頼について

第7回理事会 12月14日 中之島プラザ 出席者：9名

- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ 2006活動報告/2007活動計画について
- ・ Gold Awardの審査について
- ・ 学生研究奨励賞の審査について
- ・ 関西支部メダルの授与について
- ・ 2007新Fellowの報告について
- ・ 2008年Fellow候補の推薦について

3. 技術講演会

Technical Program Committee の企画により以下の関西支部主催講演会を実施した。

- 関西支部主催第 34 回技術講演会
日時：2006 年 8 月 31 日（木） 13:15～14:45 （参加者 98 名）
場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所
題目：音声認識理解技術の過去・現在・未来
講演者：古井 貞熙 教授（東京工業大学大学院）
- 関西支部主催第 35 回技術講演会
日時：2006 年 11 月 8 日（水） 15:00～16:30 （参加者 30 名）
場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所
題目：Chaotic yet consistent? Synchronization of driven nonlinear systems
講演者：Prof. Rajarshi Roy (University of Maryland)
- 関西支部主催第 36 回技術講演会
日時：2006 年 12 月 6 日（水） 13:30～15:00 （参加者 52 名）
場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所
題目：脳を創るから脳を活かすへ
講演者：川人 光男 氏（ATR）
- 関西支部主催第 37 回技術講演会
日時：2006 年 11 月 17 日（金） 14:00～19:00 （参加者 166 名）
場所：京都大学吉田キャンパス
題目：ナノテク加工技術/進化を続ける情報通信/最近のエネルギー事情
講演者：山田 公 名誉教授（京都大学）
平田 康夫 会長（株）KDDI 研究所）
藤 洋作 取締役相談役（関西電力株）
- 関西支部主催第 38 回技術講演会
日時：2006 年 12 月 1 日（金） 13:00～15:30 （参加者 33 名）
場所：兵庫県立大学大学院
題目：PHS ビジネスの今後の展開/イー・アクセスグループの今後の展開
講演者：木下 龍一 氏（株）ウィルコム）
庄司 勇木 氏（イー・アクセス株）
- 関西支部主催第 39 回技術講演会
日時：2006 年 12 月 8 日（金） 13:00～15:30 （参加者 21 名）
場所：兵庫県立大学大学院
題目：RFID タグ・ビジネスの現状と今後の動向
講演者：松村 謙次 氏（株）ケー・シー・エス）
- 関西支部主催第 40 回技術講演会
日時：2006 年 12 月 5 日（火） 14:15～15:35 （参加者 125 名）
場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所
題目：Commonsense Thinking
講演者：Prof. Marvin Minsky（MIT）

4. IEEE Milestone

a. 電子式卓上計算機(電卓) (シャープ(株))

IEEE 関西支部から推薦した「電子式卓上計算機(電卓)」が世界に先駆けて商品化したことが評価され、IEEE Milestone (2005年12月)として認定されたことを記念して下記のとおり講演会を開催した。

日時：2006年4月6日(木) 14:00～18:00

場所：住友クラブ 3F 多目的ホール (参加者 73名)

b. 自動改札システム (オムロン(株)、近畿日本鉄道(株)、阪急電鉄(株)、大阪大学)

IEEE Milestone 候補として Nominate していた「自動改札システム」が 2006年11月6日に IEEE History Committee に採択された。今後、IEEE Executive Committee で最終の承認を受けることとなる。

5. 各 Committee 活動

a. Membership Development Committee

本年度の最重点活動は、Senior Member への Upgrade を推進することで、会員に各機関での IEEE 活動を広く周知し、それによって新会員を増やすことであった。結果として、

(1) 11月15日現在、既に会員数は 2009名となった。本年度末にはさらに増え、昨年度末に達成した会員数 2030名をさらに越える見込みである。

(2) 昨年と同様に Student Activity Committee との連携を強めて学生会員の増強をはかった。

(3) 新 Senior Member へ授与する「関西支部メダル」の周知に努め、Members に Senior Member への Upgrade を各委員を通じて推奨した。URL でも FAQ に、Upgrade 申請を支援する項目を新設し、広く周知させた。その結果、11月15日現在、22名が新 Senior Member になった。まだ手続き中の会員もいるので、さらに増加が見込まれる。

b. Nominations Committee

(1) 昨年と同様に、支部役員の方々と連携をとり、Senior Member の拡大をはじめとする、正会員や学生会員の拡大活動を行った。

(2) 2008年 Fellow Nomination に関して、昨年同様の手続き、すなわち、関西支部内の現 Fellow に対し、新 Fellow の推薦を依頼し、IEEE 関西支部からの推薦者を決定することとした。回答期限を 12月20日(水)として推薦待ちの状況である。依頼した Fellow 有資格者は 66名 (E-mail アドレスの判明している方々)。この結果を待って、関西支部からの Fellow 推薦処理に入る予定。

(3) 関西支部会員の中から支部推薦 9名のうち 5名が 2007年1月1日付けで新 Fellow に昇格した。小田中紳二(大阪大学)、三瓶政一(大阪大学)、酒井英昭(京都大学)、鹿野清宏(奈良先端科学技術大学院大学)、杉江俊治(京都大学)の各氏である。

c. Student Activities Committee

SAC 委員会では、昨年に引き続き、学生会員の増強、学生会員の活動支援、等の活動を行っている。

(1) これまでに創設された 4 大学（大阪大学、京都大学、立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学）の Student Branch を中心に、学生会員の増強、学生会員の活動支援、対外活動、Student Branch 間の情報交換の促進、等の活動を行った。

(2) Student Branch による自主的な活動としては、これまで 4 大学の合同での活動（2003 年度は奈良先端大で、2004 年度は大阪大学でワークショップ、研究発表会、2005 年度は神戸大で説明会等）を企画、開催してきている。この活動は継続されており、今年も 4 大学のほかに昨年説明会を行った神戸大学や兵庫県立大なども交えた研究会を開催予定である。

大阪大学 IEEE Student Branch では、6 月に大阪大学の IEEE 学生会員が一同に会し研究発表を行う大阪大学 IEEE Student Branch Workshop 2006 を開催した。

立命館大学 IEEE Student Branch では、一昨年から開催している English Presentation Competition を今年も 10 月に開催し、優秀発表者に IEEE 関西支部 Student Activities Committee から表彰状を授与した。

(3) Region 10 Student Congress 2006（7 月 13 日～17 日、北京、<http://www.r10sc2006.org/>）が開催され、関西支部内からは大阪大学、京都大学、立命館大学の SB から各 1 名、合計 3 名の学生が参加した。日本全体からは 12 名の学生が参加。

(4) 11 月には名古屋大学において IEEE Japan Council 主催の IEEE 学生ブランチリーダーシップトレーニングワークショップが開催され、関西支部の 4 大学 Student Branch からも役員の学生諸君が参加した。

(5) Membership Development Committee と Student Activities Committee と合同で委員会を開催（4 月、12 月）、連携して会員の増強、活動支援、等の活動を行った。

(6) Award Committee と連携して IEEE 関西支部学生研究奨励賞を企画し、審査を行った。

d. Technical Program Committee

	日付	場所	講演者	参加者数 (IEEE 会員参加者)	共催・協賛組織名
第 34 回	2006 年 8 月 31 日	NTT コミュニケーション科学 基礎研究所	古井 貞熙 様 (東京工業大学大学院 情報理工学研究科 教授)	98(38)	日本音響学会関西支部 NTT コミュニケーション科学基 礎研究所
第 35 回	2006 年 11 月 8 日	NTT コミュニケーション科学 基礎研究所	Prof. Rajarshi Roy (Department of Physics, University of Maryland)	30(15)	日本応用数理学会 応 用カオス研究部会 NTT コミュニケーション科学基 礎研究所

第 36 回	2006 年 12 月 6 日	同志社大学 京田辺キャンパス	川人 光男 様 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 脳情報研究所所長)	52(12)	同志社大学
第 37 回	2006 年 11 月 17 日	京都大学 吉田キャンパス	山田 公 様 (京都大学 名誉教授) 平田 康夫 様 (㈱KDDI 研究所 会長) 藤 洋作 様 (関西電力㈱取締役相談役)	166(10)	京都大学工学部 電気系教室
第 38 回	2006 年 12 月 1 日	兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科	木下 龍一 様 (㈱ウイルコム 代表取締役会長) 庄司 勇木 様 (イー・アクセス(株) 常務執行役員企画本部長)	33(1)	兵庫県立大学
第 39 回	2006 年 12 月 8 日	兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科	松村 謙次 様 (㈱ケー・シー・エス 代表取締役社長)	21(8)	兵庫県立大学
第 40 回	2006 年 12 月 5 日	NTT コミュニケーション科学 基礎研究所	Prof. Marvin Minsky (MIT)	125(37)	NTT コミュニケーション科学 基礎研究所 名古屋大学情報系 COE 「社会情報基盤のための 音声・映像の知的統合」

e. Awards Committee

2005年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定の作業を継続して若手会員の増強を図った。ニューズレターおよび関西支部インターネットを通じての公募を行い、当委員会による選定を行い、受賞者を支部理事会で決定した。なお、今回もGOLD Awardの表彰楯は、Japan CouncilのSection支援費よりご支援頂き作成を行った。

また、「IEEE関西支部学生研究奨励賞」の審査を、今年度も継続してSACと合同で審査委員会を設立し行った。本賞については、今回もJapan CouncilのSection支援費より、賞状作成費ならびに副賞のご支援を頂いた。GOLD賞ならびに関西支部学生研究奨励賞については、2007年2月の支部総会において授与する予定である。

f. Chapter Promotion Committee

関西支部理事会において、100名以上の会員をもつソサイエティについては是非Chapterを設立頂きたい、また50名以上の会員をもつソサイエティについては実現可能であればChapterを設立頂きたい、という方向が決定した。この趣旨に則り、2006年にChapter Promotion Committeeを設立した。Signal Processing, Computer, Microwave Theory and Techniques, Communications, Control Systems, Lasers and Electro-Optics, Antennas and Propagation, Robotics

and Automation, Engineering in Medicine and Biology の各ソサイエティが新設 Chapter の候補となり、本 Committee に各 Society より委員を選出した。6月7日に第一回委員会を開催し、関西支部における新 Chapter 設立に向けた作業などの説明を行った。11月に、Computer, Antennas and Propagation, Communications, Microwave Theory and Techniques の4ソサイエティが Chapter 設立に必要な Petition の IEEE 本部への提出を行い、2006年12月5日に承認された。

6. Kansai Chapter 活動報告

a. EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

4月24-26日には IEEE EDS の関西発の電子デバイス国際会議である”2006 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (2006 IMFEDK)”を京都大学百周年時計台記念館にて開催した。基調講演に渡辺久恒氏 (SELETE)、塚本昌彦先生 (神戸大学) を招き、招待講演8件、一般講演18件の口頭発表に加えてポスターセッションも開催、更に会議に先立って Tutorial 講演会や開催期間での企業展示会を行うなど盛大な催しとなった。学生や若手研究者を中心に177名を超える参加者を集め、盛況のうちに終了した。

また、技術講演会としてはすでに定例となった関西コロキウム電子デバイスワークショップを10月18日、大阪大学中之島センターにて開催した。当日は関西在住の研究者による国際レベルの研究成果を日本語にて発表し、活発な討論が行われた。

DL 講演を含む技術講演会を2回開催した。1月11日には、村上英一氏 (ルネサステクノロジ)、井上真雄氏 (ルネサステクノロジ)、葛原正明先生 (福井大学) の3名による 2005IEDM 報告会(場所:大阪大学中之島センター)を開催した。7月11日には大阪大学豊中キャンパスにおいて、萩原良昭氏 (ソニー) による DL 講演会 (題目: "Electronics for Home Entertainments, Past, Present and Future") を行い、最先端デバイス技術に関する技術交流の場を持つことができた。

この他、EDS News Letter に活動成果を投稿し、1月、4月、7月、10月各号に記事掲載された。

b. SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

2006年9月15日と2006年12月14日に大阪と京都で SSCS 技術講演会を主催した。9月15日は菊池隆文氏 (ルネサステクノロジ) を招いて、「次世代LSI実装技術」に関して、12月14日は、村上篤道氏 (三菱電機) と吉本雅彦教授 (神戸大学) の2名の講演者を招いて、「映像符号化実現技術」に関して、最新技術情報を提供した。両講演会とも30~50名の参加者を集めて活発な質疑応答が行われた。なお、技術講演会の詳細は下記の URL に掲載している。

<http://www.ieee.se.ritsumei.ac.jp/sscs/>

この他、11月に北九州市で開催された「第10回システムLSIワークショップ」には、SSCS Japan Chapter とともに協賛し、大学からのポスター発表の優秀者に対して IEEE SSCS Japan Chapter 奨励賞を授与した。この他、VDEC

デザイナーフォーラム、VDEC リフレッシュ教育等、この分野の技術者及び学生が多数集まるイベントに協賛し、活動のアピールと会員獲得に努めた。

c. CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter

2006年1月12日と13日の二日間にわたって、大阪大学において、大阪大学大学院工学研究科と光州科学技術大学院との共催で「先端的回路設計技術に関する日韓共同ワークショップ」を開催した。日本と韓国双方から、講演数26件、参加者数55名があり、先端的の研究に関して、有益な技術・研究交流を行うことができた。2006年3月31日に、SoCシステムレベルデザインに関する講演会をキャンパスプラザ京都で開催した。大阪大学今井正治先生、IEEE Distinguished Lecturer であるフランス TIMA Laboratory の Ahmed A. Jerraya 先生に講演いただき、26名の参加者を得て、質の高い講演と議論を行うことができた。2006年5月22日に京都大学において京都大学情報学研究科と共催でFPGAの設計技術に関する講演会を開催した。米国ミネソタ大学の Kia Bazargan 先生にご講演いただき、30名の参加者を集めて活発な議論を行うことができた。2006年8月7日に、立命館大学において、立命館大学 IEEE 学生支部、立命館大学 VLSI センター、立命館大学スーパーヒューマン知能システム研究センターと共催で VLSI ばらつき考慮設計ならびに画像認識技術に関する講演会を開催した。中央大学の築山修治先生、TAKUMI VISION 株式会社の Bural Sadi 氏に講演いただき、39名の参加者を得て盛況のうちに講演会を終えた。また、2006年8月25日に、京都大学において、IEEE Signal Processing Society, Japan Chapter、デジタル信号処理の教育を考える会と共催で、デジタル信号処理に関する講演会を開催した。米国 MIT の Alan V. Oppenheim 先生にご講演いただき、36名の参加者を得て活発な議論を行うことができた。

7. 協賛会議

- The 2006 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (IMFEDK)
日時：2006年4月24日(月)～26日(水)
場所：京都大学時計台ホール
- システム制御情報セミナー2006
「測位衛星技術が支える社会 ～GPS/GNSS の基礎と事例」
日時：2006年10月12日(木)～13日(金)
場所：立命館大学 大阪オフィス
- The 2007 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (IMFEDK)
日時：2007年4月23日(月)～25日(水)〔予定〕
場所：大阪大学中之島センター
- 2007 IEEE International Symposium on the Applications of Ferroelectrics (IEEE ISAF-2007)
日時：2007年5月27日(日)～31日(木)〔予定〕
場所：奈良県新公会堂

8. Region 10 Meeting

2006年3月26日(土)～27日(日)の日程でタイ・チェンマイにて開催された Region 10 Meeting には、関西支部より小山 Chair、谷岡 Vice Chair、Region 10 Regional Chapter Coordinator として山本 AC Chair が出席した。支部運営に関する Tutorial、Training Session などが中心であった。

9. 情報の発信

(1) 関西支部 Web ページ

2006年6月に、Japan Council のサーバーへホームページを移転し、タイムリーに情報発信した。

URL <http://www.ieee-jp.org/section/kansai/>

(2) 電子メールの利用

技術講演会、協賛会議等の案内をタイムリーに、電子メール・関西支部ホームページを用いて広く公告するなど情報発信に努めた。

(3) News Letter

Gold 賞、学生研究奨励賞の募集をはじめ、関西支部に関する情報を News Letter 形式で4月と9月に提供した。

II 2006年 会計報告

収入の部 予算案 (単位：円)

◆IEEE Entity 間勘定	5,362,733	5,476,941		
・ Section Rebate 2006 (IEEE 本部より)	1,148,114	1,146,056	\$10,073.45 @113.77 円/\$	6/21
・ Section Rebate 2005 Additional (同上)	139,357	140,084	\$1,211.80 @115.60 円/\$ (2005年後期末入金分)	3/6
・ Section Assessment 2006 前期 (同上)	3,960,371	3,958,020	\$34,307.19 @115.37 円/\$	3/28
・ Section Assessment 2006 後期 (同上)	70,041	196,375	\$1,659.42 @118.34 円/\$	10/25
・ MDC Subsidy/Grants for Student Branch (同上)	36,800	36,406	\$320.00 @113.77 円/\$	6/21
・ The Nominate Senior Member Initiative (同上)	8,050	---		
◆その他	704,380	919,217		
・ Section 支援金 (Gold Award 楯代)	60,000	60,000	JC より (2005 申請分)	1/19
・ Section 支援金 (学生研究奨励賞代)	319,800	319,800	JC より (2005 申請分)	1/19
・ Section 支援金 (関西支部メダル代)	324,580	324,580	JC より (2005 申請分)	1/19
・ Milestone Plaque 立替代等	---	214,837	シャープ (株)	1/13,2/28
◆利息	---	328		2/20,8/20
◆2005年からの繰越金	1,568,203	1,568,203		
合計	7,635,316	7,964,689		

Rebate 内訳 {\$2,000+\$4× (Fellow, Senior 会員数=167) + \$3× (Member, Associate, Student 会員数=1,864) +\$1.5× (Affiliate 会員数=153) +\$200× (Chapter 数=3)} ×1.10
+\$75 (Chapter Bonus) ※Chapter Bonus は EDS 分

支出の部 予算案 (単位：円)

◆IEEE Entity 間勘定	4,099,413	4,228,270		
・ Japan Council 拠出金	4,030,413	4,151,475		8/3,11/17
・ Chapter Rebate	69,000	76,795	\$200.00×3+\$75.00(EDS) @113.77 円/\$	7/5
◆会合・AWARD 費	1,876,580	1,943,703		
・ 総会費	250,000	172,748	会場費, 資料代など	2/14
・ 講演会	150,000	60,000	講師謝礼金	11/8,12/6
・ 理事会費	300,000	325,383	会場代, 飲食代	1/19,2/14 4/13,6/27, 9/12,11/8, 12/14
・ Committee 会合費	400,000	347,807	MDC/SAC, CPC	4/26,6/7, 12/5
・ Gold Award 費	62,000	60,000	楯代	2/10
・ 学生研究奨励費	340,000	359,770	賞金, 賞状代, 交通費	2/14,6/21
・ 支部メダル費	324,580	324,680	造幣局	1/19
・ Student Branch 支援費	50,000	40,000	立命館大学 SB	10/6
・ Milestone 諸費用	---	253,315	Plaque 代, 交通費等	1/30,4/6
◆事務経費	63,150	1,123		
・ 通信費	3,150	---	Web 転送サービス	
・ 事務用品費	10,000	1,123	名札等	2/14
・ 旅費	50,000	---		
◆雑費	20,000	37,114	為替手数料, 振込手数料, 印電等	
◆2007年への繰越金	1,576,173	1,754,479		
合計	7,635,316	7,964,689		

Ⅲ 関西支部会員数

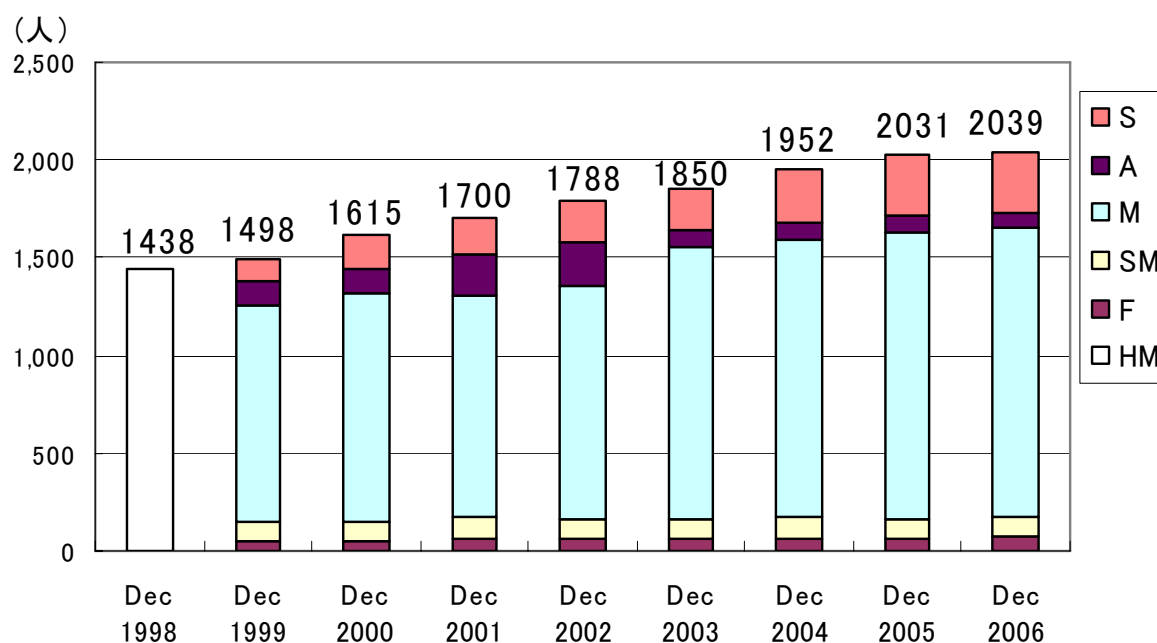
1. グレード別会員数

2006.12 現在

グレード	Grade Code	会員数
Honorary Member	HM	0
Life Fellow	LF	21
Fellow	F	48
Life Senior Member	LS	5
Senior Member	SM	99
Pending Senior Member	PS	0
Life Member	LM	29
Member	M	1,452
Pending Member	PM	0
Life Associate	LA	0
Associate	A	75
Student	S	310
Total		2,039
Affiliate of an IEEE Society	AF	142

上記集計では、Active 会員のみをカウントし、かつ、他のセクションへの移籍者等は含まない。

2006年12月においてAR（1年未満滞納者）は197名である。



2. ソサイエティ別会員数

2006.12 現在

ソサイエティ	Code	会員数
Signal Processing	SP-01	153
Broadcast Technology	BT-02	9
Antennas and Propagation	AP-03	68
Circuits and Systems	CAS-04	129
Nuclear and Plasma Science	NPS-05	22
Vehicular Technology	VT-06	45
Reliability	R-07	13
Consumer Electronics	CE-08	20
Instrumentation and Measurement	IM-09	20
Aerospace and Electronic Systems	AES-10	14
Computational Intelligence	CIS-11	101
Information Theory	IT-12	53
Industrial Electronics	IE-13	37
Engineering Management	EM-14	21
Electron Devices	ED-15	204
Computer	C-16	399
Microwave Theory and Techniques	MTT-17	152
Engineering in Medicine and Biology	EMB-18	61
Communications	COM-19	215
Ultrasonics, Ferroelectronics and Frequency Control	UFFC-20	33
Components, Packaging and Manufacturing Technology	CPMT-21	24
Oceanic Engineering	OE-22	11
Control Systems	CS-23	94
Robotics and Automation	RA-24	94
Education	E-25	11
Professional Communication	PC-26	0
Electromagnetic Compatibility	EMC-27	23
System, Man and Cybernetics	SMC-28	103
Geoscience and Remote Sensing	GRS-29	11
Social Implications of Technology	SIT-30	4
Power Engineering	PE-31	48
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI-32	13
Magnetics	MAG-33	40
Industry Applications	IA-34	40
Power Electronics	PEL-35	36
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	137
Solid-State Circuits	SSC-37	169
Intelligent Transportation Systems	ITSS-38	18
Product Safety Engineering	PSE-43	4
Total		2,649

IV 2007年関西支部役員・理事

Section Officers

Chair:	松本 紘	(京都大学)
Vice Chair:	千葉 徹	(シャープ)
Secretary/Treasurer:	岩瀬 哲雄	(シャープ)

理事

MDC Chair:	山内 寛紀	(立命館大学)
NC Chair:	中村 行宏	(京都大学)
SAC Chair:	尾上 孝雄	(大阪大学)
TPC Chair:	三好 正人	(日本電信電話)
AC Chair:	菊野 亨	(大阪大学)
COC Chair:	山本 幹	(関西大学)

理事 (Past Officers, Past Committee Chairs)

Past Chair:	小山 正樹	(奈良先端科学技術大学院大学)
Past Vice Chair:	谷岡 匠	(かんでんジョイライフ)
Past Secretary/Treasurer:	石田 文章	(関西電力)
Past MDC Chair	橋本 正弘	(大阪電気通信大学)
Past SAC Chair	藤原 秀雄	(奈良先端科学技術大学院大学)
Past TPC Chair	山本 誠一	(同志社大学/ATR)

Committee Officers

a. Membership Development Committee :

Chair:	山内 寛紀	(立命館大学)
Secretary:	吉川 雅弥	(立命館大学)
Member:	赤木 永治	(住友電気工業)
	太田 有三	(神戸大学)
	勝山 豊	(大阪府立大学)
	酒井 英昭	(京都大学)
	田邊 信二	(三菱電機)
	庄中 永	(オムロン)
	瀬恒 謙太郎	(松下電器産業)
	辰巳 昭治	(大阪市立大学)
	平松 達夫	(三洋電機)
	林 栄治	(関西電力)
	藤田 智弘	(立命館大学)
	宮本 雅之	(シャープ)
	三好 正人	(日本電信電話)

b. Nominations Committee :

Chair:	中村 行宏	(京都大学)
Member:	和田 修	(神戸大学)
	山本 裕	(京都大学)
	池田 雅夫	(大阪大学)
	片桐 滋	(同志社大学)
	植村 俊亮	(奈良先端科学技術大学院大学)

c. Student Activities Committee :

Chair:	尾上 孝雄	(大阪大学)
Member:	宮本 伸一	(大阪大学)
	小林 和淑	(京都大学)
	沼 昌宏	(神戸大学)
	芳賀 博英	(同志社大学)
	松本 健一	(奈良先端科学技術大学院大学)
	近藤 克哉	(兵庫県立大学)
	山崎 勝弘	(立命館大学)

d. Technical Program Committee :

Chair:	三好 正人	(日本電信電話)
Vice Chair:	澤井 秀文	(情報通信研究機構)
Secretary:	岩井 誠人	(同志社大学)

e. Awards Committee :

Chair:	菊野 亨	(大阪大学)
Member:	朝香 卓也	(京都大学)
	飯田 元	(奈良先端科学技術大学院大学)
	石浦 菜岐佐	(関西学院大学)
	太田 能	(神戸大学)
	大橋 正治	(大阪府立大学)
	岡 育生	(大阪市立大学)
	黒江 康明	(京都工芸繊維大学)
	近藤 晴房	(三菱電機)
	野口 拓	(立命館大学)
	棟安 実治	(関西大学)
	山田 晃久	(シャープ)

f. Chapter Promotion Committee :

Chair:	山本 幹	(関西大学)
Member:	浅田 稔	(大阪大学)
	池田 雅夫	(大阪大学)
	石尾 秀樹	(大阪工業大学)
	大平 孝	(国際電気通信基礎技術研究所)
	小南 昌信	(大阪電気通信大学)

中津	良平	(関西学院大学)
中村	行宏	(京都大学)
野田	進	(京都大学)
吉田	正樹	(大阪電気通信大学)

V 2007 年 Kansai Chapter 役員

EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter :

Chair:	西村 正	(ルネサステクノロジ)
Vice Chair:	大村 泰久	(関西大学)
Secretary:	井上 靖朗	(ルネサステクノロジ)
Treasurer:	松尾 直人	(兵庫県立大学)

SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter :

Chair:	山口 聖司	(松下電器産業)
Vice Chair:	吉本 雅彦	(神戸大学)
Secretary:	藤田 智弘	(立命館大学)
Treasurer:	蕪尾 英之	(松下電器産業)

CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter :

Chair:	小野寺 秀俊	(京都大学)
Vice Chair:	石浦 菜岐佐	(関西学院大学)
Secretary:	橋本 昌宜	(大阪大学)
Treasurer:	一宮 敬弘	(松下電器産業)

APS (Antennas and Propagation Society) Kansai Chapter :

Chair:	小南 昌信	(大阪電気通信大学)
Vice Chair:	小川 晃一	(松下電器産業)
Secretary:	出口 博之	(同志社大学)
Treasurer:	岩井 浩	(松下電器産業)

COMS (Communications Society) Kansai Chapter :

Chair:	石尾 秀樹	(大阪工業大学)
Vice Chair:	熊澤 宏之	(三菱電機)
Secretary/Treasurer:	岡田 実	(奈良先端科学技術大学院大学)

CS (Computer Society) Kansai Chapter :

Chair:	中村 行宏	(京都大学)
Vice Chair:	本原 章	(松下電器産業)
Secretary:	青木 直明	(松下電器産業)
Treasurer:	越智 裕之	(京都大学)

MTTS (Microwave Theory and Techniques Society) Kansai Chapter :

Chair:	大平 孝	(国際電気通信基礎技術研究所)
Vice Chair:	伊東 健治	(三菱電機)
Secretary:	島崎 仁司	(京都工芸繊維大学)
Treasurer:	丸橋 建一	(日本電気)

VI 2007年 活動計画

1. 総会

2007年2月6日(火) 15:00~17:30の予定で、2007年定例総会を実施する。

2. 技術講演会

Technical Program Committeeの企画により、講演会を実施する。

3. 理事会

第1回理事会 1月 19日 ばるるプラザ京都

- ・2007年総会について
- ・2006年会計報告について
- ・2007年活動計画について
- ・新Chapter設立について

第2回理事会 2月 6日 京大会館

- ・2007年総会について

2007年中に、さらに数回の理事会を開催する予定である。

4. 関西支部 Gold Award

2006年に引き続き、Award受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

5. 関西支部学生研究奨励賞

2006年に引き続き、学生研究奨励賞受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

6. 関西支部メダル

2006年に引き続き、新Senior Memberに対して関西支部メダルを授与する。

7. 各 Committee 活動計画

a. Membership Development Committee

- (1) 2007年度も20名程度の新Senior Memberを増やすことを目標にし、前年度と同様に会員の増加に結びつける。
- (2) 前年度と同様にStudent Activity Committeeと連携を深め、学生会員の増加につなげる。

b. Nominations Committee

- (1) 2006年と同様に、Membership Development Committeeと共同してSenior Memberだけではなく、正員、学生員の拡大をも図る。
- (2) Fellow候補者をできるだけ多くNominateする。Fellow Nominationに関して、2006年と同一手順で実行の予定。併せて、一般Memberに対し、Senior Memberへのupgradeを勧める。

c. Student Activities Committee

(1) Student Branch の設立

昨年に引き続き、学生会員の勧誘を進め、Student Branch の設立に向け努力を継続する。既設の大阪大学、立命館大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学に加え、神戸大学、大阪府立大学、兵庫県立大学、他を対象に Student Branch の設立を目指す。

(2) 学生会員活動の活発化

学生を対象とした講演会、見学会、IEEE 活動説明会を兼ねたイベントを企画し、学生会員の一層の増加を図る。既設の4大学 Student Branch の協力により、Student Branch が設置されていない大学に対しても、学生会員への積極的なサービス提供ならびに会員増強のプロモーションを図る。関西支部の4大学 Student Branch を中心に、交流会を引き続き開催し、Student Branch 間の交流を深める。

(3) 表彰および研究奨励

2004年から開始した IEEE 関西支部学生研究奨励賞を(Awards Committee と共同する形で)継続して企画し、優れた英文論文を発表した学生を表彰し、学生会員の研究を奨励する。

(4) 他支部の学生活動との連携

国内に設立されている他の8支部の学生活動との情報交換、連携により関西支部における学生会員活動のより一層の深化を図る。

(5) 関西支部配下の Student Branch の 2007 年の体制は以下の通りである。

(学年は 2007 年 4 月時点の予定)

1. 大阪大学

Counselor:	尾上 孝雄	(大阪大学 教授)
Mentor:	岡田 圭介	(ルネサステクノロジ)
Chair:	野里 良裕	(博士 1 回生)
Vice Chair:	新開 健一	(修士 2 回生)
Treasurer:	橋本 亮司	(博士 1 回生)
Secretary:	三好 悠司	(博士 2 回生)
Website URL: http://www-ise2.ist.osaka-u.ac.jp/ieee/		

2. 京都大学

Counselor:	小野寺 秀俊	(京都大学 教授)
Mentor:	近村 啓史	(松下電器産業)
Chair:	日向 文彦	(修士 2 回生)
Vice Chair:	神田 和士	(修士 1 回生)
Treasurer:	山口 典昭	(修士 1 回生)
Secretary:	武智 翔吾	(修士 1 回生)
Website URL: http://ieee.kuee.kyoto-u.ac.jp/		

3. 立命館大学

Counselor:	山崎 勝弘	(立命館大学 教授)
Mentor:	川上 善之	(松下電器産業)
	多田 章	(ルネサステクノロジ)
Chair:	友田 進吾	(修士2回生)
Vice Chair:	鶴岡 飛鳥	(修士2回生)
Treasurer:	橋詰 大毅	(修士1回生)
Secretary:	原田 大輝	(修士1回生)

Website URL: <http://www.ieee.se.ritsumeai.ac.jp/>

4. 奈良先端科学技術大学院大学

Counselor:	飯田 元	(奈良先端科学技術大学院大学 教授)
Mentor:	阪井 誠	(S R A 先端技術研究所)
Chair:	亀井 靖高	(博士1回生)
Vice Chair:	上野 秀剛	(博士2回生)
Treasurer:	大西 洋司	(修士2回生)
Secretary:	松本 真佑	(修士2回生)

Website URL: http://se.naist.jp/sb/index_ja.html

d. Technical Program Committee

2006年と同様、講演会の開催を主たる活動とする。2007年も5回以上の企画・開催を目指す。

従来から継続している、大阪・京都地区での講演会の開催、会員からの講演会の提案受付、シリーズ講演会の開催などは今後も引き続き積極的に取り組んでいく。IEEE Distinguished Lecturer による講演会等の企画にも取り組む。

e. Awards Committee

2006年に引き続き、若手会員増強施策としての「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定作業、ならびに学生会員増強施策としての「IEEE 関西支部学生研究奨励賞」の選定作業を継続して行う。また、中長期的視野で学生会員や若手会員のさらなる増強をねらい、予算措置を視野に入れながら新企画について検討を行う。

f. Chapter Operations Committee

Chapter Promotion Committee を改組し、Chapter Operations Committee として設立準備中。

8. Kansai Chapter 活動計画

a. EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

2007 年も国際会議、技術講演会を中心に積極的に活動を展開する。国際会議”International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (IMFEDK)”は 2007 年も主催 (4 月 23-25 日、大阪大学中之島センター)、定例の関西コロキウム電子デバイスワークショップも 10 月に開催の予定である。好評であった IEDM 報告会は 2007 年も 1 月 26 日、大阪大学中之島センターで開催すると共に、Distinguished Lecturer を招いての技術講演会 (DL Meeting) も積極的に開催する予定にしている。

この他、関西地区で開催される各種会議・研究会にも積極的に協賛し、引き続き会員獲得にもつとめていく計画である。

b. SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

2007 年も技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。6 月と 10 月頃に技術講演会を開催し、国内外より著名な VLSI 設計関連の技術者を招く予定である。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得に努める計画である。

c. CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter

2007 年も 2006 年と同様に、技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。著名な国外研究者が集まる Symposium on VLSI Circuits や SASIMI の開催に合わせて、講演会を開催することを検討している。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、学会活動への貢献と会員獲得に努める計画である。

d. APS (Antennas and Propagation Society) Kansai Chapter

関西における AP-S 会員の拠点として、会員のプラスになる活動・行事を積極的に実施し、会員獲得につとめるとともに関連学会との連携を図る計画である。Chapter がスタートする 2007 年は 2 月 17 日に MTT-S と設立合同総会と記念講演会を、4 月 19 日には電子情報通信学会アンテナ伝播研究会と共催で特別講演会を行う予定である。また、秋には若手技術者のための講演会を計画中である。

e. COMS (Communications Society) Kansai Chapter

(活動計画策定中)

f. CS (Computer Society) Kansai Chapter

2007 年は Chapter 活動の初年として将来の発展を視野に入れ、技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。本年は、2 回程度の技術

講演会を開催し、また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得につとめる計画である

g. MTTS (Microwave Theory and Techniques Society) Kansai Chapter
(活動計画策定中)

9. 協賛会議

他学会・組織と連携し、協賛会議の実施を検討する。

VII 2007年 予算案

収入の部

(単位：円)

◆IEEE Entity 間勘定	5,113,890	
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	1,123,463	\$10,213.3 (2006.12 会員数より推定)
・ Section Assessment 2007 前期 (同上)	3,773,791	\$34,307.19 (2006 年実績)
・ Section Assessment 2007 後期 (同上)	182,536	\$1,659.42 (2006 年実績)
・ MDC Subsidy/Grants for Student Branch (同上)	34,100	\$310.00 (2006.12 会員数より推定)
◆その他	761,920	
・ Section 支援金 (Gold Award 楯代)	60,000	JC より (2006 申請分)
・ Section 支援金 (学生研究奨励賞代)	320,000	JC より (2006 申請分)
・ Section 支援金 (関西支部メダル代)	331,920	JC より (2006 申請分)
・ Section 支援金 (Student Branch 支援費)	50,000	JC より (2007 申請予定)
◆2006 年からの繰越金	1,754,479	
合計	7,630,289	

110 円/\$として計算

Rebate 内訳 { \$2,000 + \$4 × (Fellow, Senior 会員数 = 173) + \$3 × (Member, Associate, Student 会員数 = 1,866) + \$1.5 × (Affiliate 会員数 = 142) + \$200 × (Chapter 数 = 3) } × 1.10 + \$200 (Section Bonus)

会員数は、2006.12 末現在

支出の部

(単位：円)

◆IEEE Entity 間勘定	4,022,327	
・ Japan Council 拠出金	3,956,327	\$35,966.61 (2006 年実績)
・ Chapter Rebate	66,000	\$200.00 × 3
◆会合・AWARD 費	1,778,840	
・ 総会費	200,000	会場費、資料代など
・ 講演会	90,000	講師謝礼金
・ 理事会費	230,000	会場代、飲食代
・ Committee 会合費	400,000	MDC/SAC
・ Gold Award 費	61,000	楯代、交通費
・ 学生研究奨励費	350,000	賞金、賞状代、交通費
・ 支部メダル費	331,840	造幣局
・ Student Branch 支援費	50,000	立命館大学 English Presentation Competition
・ Milestone Plaque 代	66,000	\$600
◆事務経費	34,000	
・ 事務用品費	4,000	
・ 旅費	30,000	
◆雑費	40,000	為替手数料, 振込手数料など
◆2008 年への繰越	1,755,122	
合計	7,630,289	

110 円/\$として計算

VIII 関西支部 Bylaws

IEEE KANSAI SECTION BYLAWS

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, Policy and Procedures manual, and the Regional Activities Board (RAB) Bylaws and Operations Manual will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

ARTICLE I --- Name and Territory

Section 1

This organization shall be known as the Kansai Section of the IEEE.

Section 2

The territory of the Kansai Section, as approved by RAB, includes the following:

Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Shiga, and Wakayama prefectures, JAPAN

(The districts with the postal codes starting with 52 through 67 inclusive.)

ARTICLE II --- Officers

Section 1

The elected officers of the Kansai Section shall be the 4 Executive officers: Chair, Vice Chair, Secretary & Treasurer. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.

Section 2

The terms of office of the elected officers shall be for 2 years.

Section 3

Terms of office will begin on January 1 but, in any case, the outgoing officers will continue until their successors are duly elected and take office. The consecutive period of service shall not exceed two years.

Section 4

Any vacancy occurring during the year shall be filled by a majority vote of the Section Executive Committee.

ARTICLE III --- Standing Committee

Section 1

The Standing Committees of the Section will be as follows:

- Membership Development Committee
- Nominations Committee
- Student Activities Committee
- Technical Program Committee
- Awards Committee
- Chapter Operations Committee

Section 2

The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the

Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Section Chair.
Section3

Each Committee Chair will appoint his/her Committee members, with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Committee end-of-term date of the Committee Chairs'.

Section4

Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

ARTICLE IV --- Management

Section 1

The management of the Section shall be by the Section Executive Committee which shall consist of the elected officers, the Past Section Chair and the following:

Standing Committee Chairs
representatives of Chapters,
such other members appointed by the Section Executive Committee,
and such other members appointed by the Section Chairman.

The number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.

Section 2

A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.

Section 3

A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of its business.

Section 4

Meetings of the Section Executive Committee ordinarily will be held at least twice a year and will be called by the Section Chair or by a request of an three members of the Section Executive Committee.

Section 5

The fiscal year of the Section shall be the calendar year.

ARTICLE V --- Nomination and Election of Officers

Section 1

A nominating Committee consisting of three members, not then officers of the Section, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.

Section 2

The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of 28 days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by 2% or more voting membership.

Section 3

If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot, mailed to the membership with the vote counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

Section 4

The timetable for this procedure is as follows:

Appointment of Nominating Committee:	by August 31
Announcement of Nominations:	by September 30
Close nominations by petition:	by October 31
Hold election:	by November 30

Section 5

A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

ARTICLE VI --- Business Meeting

Section 1

In order to transact business at a Section meeting, at least 3 members must be present to constitute a quorum.

ARTICLE VII --- Finances

Section 1

All expenditures of Section funds must be approved by Section Treasurer or Chair.

Section 2

Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can be used only for normal operations of the Section.

Section 3

The treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.

ARTICLE VIII --- Amendments

Section 1

Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by 20% or more voting members.

Section 2

Amendments to or revocation of these Bylaws shall be in accordance with the IEEE Bylaws, RAB Bylaws and RAB Operations Manual.

IEEE 関西支部技術講演会 企画実施要領

IEEE 関西支部
Technical Program Committee

1. 受付、承認の手続き

- (1) 受付：IEEE 関西支部役員、関西支部メンバー等から下記提案項目に基づいて TPC (Technical Program Committee) に提案する。
IEEE 関西支部主催 技術講演会として推薦する内容
 - ・ 講演者氏名、所属
 - ・ 講演予定日時、場所
 - ・ 講演予定内容 (タイトル、アブストラクト) (英文可, 200-300words)
 - ・ 講演者略歴 (英文可, 100-300words)
 - ・ IEEE 会員へのメリット (会員への講演の関連性、推薦のことば)
 - ・ 推薦者氏名、所属、(IEEE 関西支部役職)
 - ・ 担当者氏名・連絡先 (tel, fax, e-mail)
 - ・ 共催とする場合の共催組織名
- (2) 承認：
 - (i) TPC は、講演内容の重要性、貴重性、関連性などを検討する。
 - (ii) IEEE 関西支部技術講演会として適当であると判断した場合、TPC 委員長が、IEEE 関西支部役員会に提案する。判断材料として、講演者の経歴、講演内容、推薦文などを用いる。
- (3) 企画：支部で OK ができれば、推薦者、講演者、会場提供者と TPC が連絡をとって講演会詳細を詰めて、案内文を作成する。
- (4) 案内：案内文を支部 General Secretary に送付して、WWW 掲載、e-mail 配布 (東京支部) を依頼する。
- (5) 参加受付：TPC Secretary が参加申し込みを受付ける。
- (6) 会場準備：会場を提供する組織が、案内・受付スタッフを出す。
- (7) 当日運営：IEEE 関西支部挨拶、司会者などは (共催先と相談して) 柔軟に運用する (なるべく TPC から司会者または挨拶者を出す)。
参加者には名簿に記入していただく。(参加者数の把握とデータベース化)
- (8) 費用負担：IEEE は会場費を負担しない。謝礼は IEEE 関西支部が出す。
ただし IEEE Fellow および IEEE Distinguished Lecturer は無料奉仕として謝礼は支払わない。
- (9) 事後報告：TPC は IEEE 関西支部総会で、年間の開催実績を報告する。

2. Technical Program Committee Member

Chair: 三好 正人 (日本電信電話 miyo@cslab.kecl.ntt.co.jp)
Vice Chair: 澤井 秀文 (情報通信研究機構 sawai@nict.go.jp)
Secretary: 岩井 誠人 (同志社大学 iwai@mail.doshisha.ac.jp)

2007 年 IEEE 関西支部連絡先

〒545-8522 大阪市阿倍野区长池町 22 番 22 号
シャープ株式会社 広報室(社史編集グループ) 内
TEL : 06-6625-0915 FAX : 06-6625-0916
e-mail : sec-kansai@ieee-jp.org
Web URL : <http://ewh.ieee.org/r10/kansai/>
<http://www.ieee-kansai.org/>